■株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
公告の方法	電子公告 当社ホームページ（下記URL）に掲載 http://www.jti.co.jp/ ※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載
株主名簿管理人・特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 （事務取扱場所） 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 （お問い合せ先　郵便物送付先） 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 フリーダイヤル　0120-232-711 （受付時間　土・日・祝日を除く　9:00～17:00） （特別口座に関する手続用紙のご請求） 特別口座をご利用の株主様の住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求は、特別口座管理機関のフリーダイヤル（0120-244-479）で24時間承っておりますので、ご利用ください。
株式の諸手続き	口座を開設されている証券会社までお問い合せください。

■株主優待商品発送のご案内

2009年3月末の株主の皆様あてに6月に送付させていただきました株主優待のご案内につきまして、期限までにお申し込みいただいた場合は7月末より優待商品をお届けしておりますが、まだお手元に届かない株主様がおられましたら、お手数ですが、下記のお問い合せ先までご連絡ください。

JT株主優待事務局
（商品発送代行：株式会社ジェイティクリエイティブサービス）
フリーダイヤル　0120-791-187
（受付時間　土・日・祝日を除く　9：00～17：00）

なお、株主優待商品につきましては、株主名簿にご登録いただいておりますご住所あてにお届けしております。
引越し等により、ご住所に変更があった場合には、口座を開設されている証券会社へ速やかにお届出をお願いいたします。
特別口座をご利用の株主様につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社へ速やかにお届出をお願いいたします。

日本たばこ産業株式会社
〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル
電話：03-3582-3111
http://www.jti.co.jp/

ミックス品
FSC認証林及び管理された森林からの製品グループです
www.fsc.org Certno.SA-COC-001365
© 1996 Forest Stewardship Council
PRINTED WITH SOY INK
この業績報告書は森林保護につながるFSC認証紙（無塩素漂白）を使用するとともに、大豆油インキを使用しています。

ひとの ときを、想う。JT

株主の皆様へ

JT 業績報告書

Vol.26

contents

2010年3月期（2009年度）第1四半期決算のご報告

JTグループ企業のご紹介
鳥居薬品株式会社

旅路の先で出会う温故知新／
加波山たばこ神社 きせる祭

ひろえば街が好きになる運動

たばこと塩の博物館　特別展
「やすらぎのオーストリア
～カフェとたばこにみるウィーンの文化史～」展

株主様アンケート結果のご報告

ニュース掲示板

JTグループ商品のご案内
●ルーツ「アロマブラック」 リニューアル
●ルーツ「アロマレボリュート」 好評発売中
●「細うどん」 好評発売中
●お弁当シリーズ「新鮮卵のふっくらオムレツ」 リニューアル

株式の諸手続きについて

ひとの ときを、想う。JT

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より当社の事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2010年3月期第１四半期決算では、世界的に軟調な経済環境や不安定な為替環境が企業経営に大きな影響を与える中、国内たばこ事業におけるシェア上昇、海外たばこ事業においては為替影響を除けば力強い成長を果たす等、今年度の見込達成に向け順調なスタートを切りました。

国内たばこ事業では、販売シェアを前年通期の水準に維持し、前年同期比較では0.2%ポイント上昇させることができました。これは、主要ブランドであるマイルドセブン、セブンスター、ピアニッシモへの積極的な資源投入を行うとともに、コンビニエンスストアをはじめとした対面販路において製品露出の強化等をしっかりと継続してきたこと、マイルドセブン100mmサイズのラインナップの充実を図る等、お客様の多様なニーズにお応えすべく新製品の投入を実施した成果であると考えています。また、8月には新技術を採用した特殊なチャコールフィルターを使用し、メンソール感を損なうことなくたばこの雑味を抑えた「セブンスター・ブラック・チャコールメンソール・ボックス」を発売いたしました。

海外たばこ事業では、ロシア・イタリア・フランス・スペイン・トルコ・台湾等の主要市場において着実にシェアを上昇させております。一方、新興国の一部においては経済悪化の影響から販売数量の減少が見られることや、中東における一時的な出荷停止やフィリピンでの事業構造変更の影響等により数量減がありますが、総じて事業は堅調に推移しております。また、今期は前年度と対比する場合、財務的には為替変動により大きなマイナス影響が発生いたしますが、この影響を除けば売上高、利益ともに力強い成長を果たしております。

2009年4月に当社は中期経営計画「JT-11（イレブン）」を発表いたしました。今回の第１四半期の決算のご報告は「JT-11」における最初の経営成績報告となります。前年同期で比較しますと減収減益という結果となりましたが、2010年3月期見込に対しては順調に推移しており、引き続き中期経営計画で目指す事業目標の達成に向け、鋭意取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、当社の事業運営につきまして、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年8月
代表取締役社長
木村　宏

2010年3月期（2009年度）第1四半期決算のご報告

「2010年3月期（2009年度）第1四半期決算の概要」

2010年3月期第1四半期決算は、対前年同期比で減収減益となったものの、国内たばこ事業におけるシェア上昇、海外たばこ事業においては為替の影響を除けば増収・増益となる等、2010年3月期の見込達成に向け順調なスタートを切っています。

税抜売上高は、国内たばこ事業における販売数量の減少及び海外たばこ事業においてロシア、イギリスといった主要市場の通貨がドルに対して下落するマイナス影響、さらにドルから円への換算時に円高のマイナス影響を受けることから、前年同期比2,566億円減収の1兆4,631億円となりました。

EBITDA（営業利益＋減価償却費）は、売上高の減少を受け、前年同期比380億円減益の1,425億円となりました。

営業利益は、国内たばこ事業における一部商標権の償却終了に伴う減価償却費の減少があったものの、前年同期比261億円減益の842億円となりました。

経常利益は、支払利息の減少に加え、為替差損益の大幅な改善により、前年同期比62億円増益の788億円となりました。

四半期純利益は、固定資産売却益の増加に加え、前年同期において廃止社宅等の取壊し撤去費用を含む関連損失及び成人識別自販機導入費用を計上していたこと等により、前年同期比259億円増益の428億円となりました。

■表1　2010年3月期第1四半期決算　（単位：億円）

	2009年3月期第1四半期実績	2010年3月期第1四半期実績	増減
税込売上高	17,198	14,631	△ 2,566
税抜売上高※1	5,592	4,748	△ 844
EBITDA※2	1,806	1,425	△ 380
営業利益	1,104	842	△ 261
経常利益	725	788	62
四半期純利益	169	428	259

※1　たばこ税、国内たばこ事業における輸入たばこ・国内免税・中国事業・その他及び海外たばこ事業における物流事業・PB・製造受託・その他を控除
※2　EBITDA＝営業利益＋減価償却費　キャッシュフロー・ベースの利益

参考：のれんの償却影響を除く主要利益

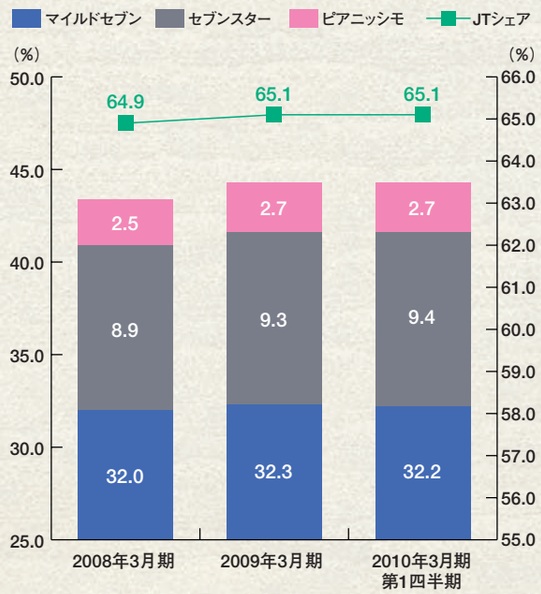
営業利益	1,372	1,092	△ 279
経常利益	993	1,037	44
四半期純利益	436	678	241

各事業の概要

国内たばこ事業

国内たばこ事業については、高齢化の進展等構造的な要因を背景とした総需要の減少傾向に加え、昨年度は成人識別自販機の導入に際してコンビニエンスストア等において一時的な在庫の増加があったことにより、販売数量は前年同期比7.2%の減少となりました。EBITDA（営業利益＋減価償却費）については、販売数量の減少に加え、成人識別自販機システム運営・維持費用及び原材料費の増加等により減益となりましたが、2010年3月期の見込に対しては計画に沿った実績となっています。一方、積極的な販売促進活動の実施や新製品の投入等により、主要ブランドが着実に成長し、シェアは前期の水準を維持し65.1%となり、前年同期比0.2%ポイント増となりました。今後もブランド及び各販売チャネルに対して積極的な投資を行い、3期連続シェア増加を目指します。

■図1　JT主要ブランド及びJT製品の市場シェア



■表2　国内たばこ事業実績　（単位：億円）

	2009年3月期第1四半期実績	2010年3月期第1四半期実績	増減
税抜売上高※1	1,706	1,583	△ 122
EBITDA※2	755	696	△ 59
営業利益	558	546	△ 12
JT販売数量（億本）※3	420	390	△ 30

※1　たばこ税、輸入たばこ・国内免税・中国事業・その他を控除
※2　EBITDA＝営業利益＋減価償却費　キャッシュフロー・ベースの利益
※3　輸入たばこ・国内免税・中国事業を控除

新製品情報

発売40周年を迎えたセブンスター・ファミリーから、新技術を採用した全く新しいチャコールフィルターにより、鋭さ極めた強メンソールが味わえる新製品「セブンスター・ブラック・チャコールメンソール・ボックス」を全国で発売しました。

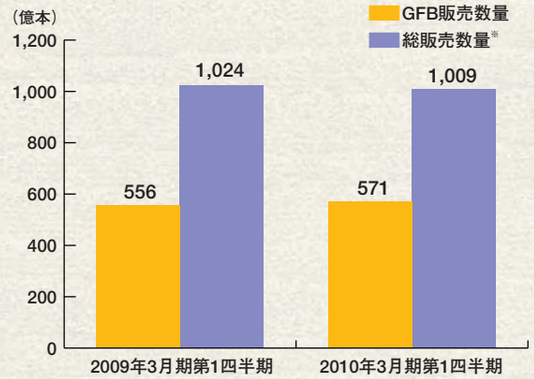
「セブンスター・ブラック・チャコールメンソール・ボックス」
8月上旬より全国発売

製品サイズ：フィルター付キングサイズ
フィルタータイプ：チャコールフィルター
タール値：7mg／本
ニコチン値：0.6mg／本
包装形態：20本入り ハードパック
価格：300円

海外たばこ事業

海外たばこ事業の2009年1-3月期のグローバル・フラッグシップ・ブランド（GFB）の販売数量は、「ウィンストン」がトルコ、ロシア、フランス、イタリア、スペインで、「キャメル」がイタリアで、「マイルドセブン」が韓国、台湾で順調に伸張したことにより、前年同期に対し15億本増加し、571億本となりました。しかしながら、中東における一時的な出荷停止の影響及びフィリピンでの事業構造変更の影響等により、海外たばこ事業の販売数量は前年同期に対し14億本減少し、1,009億本となりました。EBITDA（営業利益＋減価償却費）については、主に値上げ効果が原材料費増等の影響を上回り、対前年比較で為替変動がなかったと仮定した場合には増収、増益となり、今年度の見込達成に向け、順調なスタートを切りました。また、為替のマイナス影響も4月の通期見込発表時の想定より軽微となっています。

■図2　海外たばこ事業販売数量実績



※ PB、製造受託を除き、シガー／パイプ／スヌース（かみたばこ）込み
※ 海外たばこ事業実績は1-3月期を連結

●2009年1-3月期 地域別販売実績※

	総販売数量	GFB販売数量
南欧・西欧	+0.8%	+3.2%
北欧・中欧	+3.0%	−0.1%
CIS＋	−3.6%	+1.4%
その他地域	−0.5%	+4.6%

※ PB、製造受託を除き、シガー／パイプ／スヌース（かみたばこ）込み

■表3　海外たばこ事業実績　（単位：百万ドル）

	2009年3月期第1四半期実績	2010年3月期第1四半期実績	増減
税抜売上高※1	2,421	2,148	△ 273
EBITDA※2	948	789	△ 159
販売数量（億本）※3	1,024	1,009	△ 14
GFB販売数量（億本）	556	571	15

参考：前年の為替レートを使用した場合の実績　（単位：百万ドル）

	2009年3月期第1四半期実績	2010年3月期第1四半期実績	増減
税抜売上高※1	2,421	2,611	190
EBITDA※2	948	1,016	68

※1　たばこ税、物流事業、PB、製造受託・その他を控除
※2　EBITDA＝営業利益＋減価償却費　キャッシュフロー・ベースの利益、JTへのロイヤリティ支払い前
※3　PB、製造受託を除き、シガー／パイプ／スヌース（かみたばこ）込み

各事業の概要

医薬事業

医薬事業については、後期開発品の充実、研究開発パイプラインの強化に注力し、引き続き国際的に通用する特色ある研究開発主導型事業の構築、オリジナル新薬を通じての存在感の確保に努めています。開発状況としては、自社開発品9品目が臨床試験の段階にあります。また海外の導出先において、「JTT-705」、「JTK-303」の2品目がフェーズ3段階にあります。今後とも研究開発活動の強化、及び戦略的な導出入機会の探索を図っていきます。

■医薬事業　臨床開発品目（2009年7月30日現在）

開発名	開発段階	主な適応症	詳　細	権　利
JTT-705（経口）	国内：Phase2	脂質異常症	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社ではPhase3）
JTT-130（経口）	国内：Phase2 海外：Phase2	脂質異常症	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる	
JTK-303（経口）	国内：Phase1	HIV感染症	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社ではPhase3）
JTT-302（経口）	海外：Phase2	脂質異常症	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	
JTT-305（経口）	国内：Phase2	骨粗鬆症	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する	米国メルク社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTS-653（経口）	国内：Phase1	鎮痛、過活動膀胱	知覚神経に存在するTRPV1の働きを阻害することにより症状を改善する	
JTT-654（経口）	国内：Phase1 海外：Phase1	2型糖尿病	HSD-1の働きを阻害することにより、過剰なグルココルチコイド作用を抑制する	
JTK-656（経口）	海外：Phase1	HIV感染症	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	
JTT-751（経口）	国内：Phase2	高リン血症	消化管内で食物から遊離するリンを吸着することで、リンの体内吸収を抑える	米国ケリックス・バイオファーマシューティカルズ社より日本における開発・商業化権を導入（鳥居薬品と共同開発）

食品事業

食品事業については、飲料事業、加工食品事業、調味料事業の3分野に注力し、最高水準の安全管理に向けた取り組みを推進するとともに、将来の飛躍的な成長に向けた基盤強化に努めています。飲料事業については基幹ブランドである「ルーツ」を中心に差別化を徹底的に追求した新製品等を積極的に開発・投入しました。加工食品事業及び調味料事業においては、加卜吉グループにおいて統合シナジーの追求、注力分野に戦力を集中するとともに、統合後の新組織での一体感のさらなる醸成を図ることで、事業基盤のさらなる強化に努めています。

「2010年3月期 業績予想」

2010年3月期の業績予想については、為替市場の動向が引き続き不透明であり、現時点で想定レートを変更するのは時期尚早であることから、変更は行いません。

■表4　2010年3月期業績予想（2009年4月30日公表）　（単位：億円）

	2009年3月期実績	2010年3月期見込	増減
税込売上高	68,323	60,000	△ 8,323
税抜売上高※1	22,436	19,850	△ 2,586
EBITDA※2	6,462	4,750	△ 1,712
営業利益	3,638	2,440	△ 1,198
経常利益	3,075	2,270	△ 805
当期純利益	1,234	1,000	△ 234

※1　たばこ税、国内たばこ事業における輸入たばこ・国内免税・中国事業・その他及び海外たばこ事業における物流事業・PB・製造受託・その他を控除
※2　EBITDA＝営業利益＋減価償却費　キャッシュフロー・ベースの利益

参考：のれんの償却影響を除く当期純利益

当期純利益	2,289	1,970	△ 319

●将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

(1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
(2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
(3) 国内外の訴訟の動向
(4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
(5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
(6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
(7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
(8) 国内外の経済状況
(9) 為替変動及び原材料費の変動

連結財務諸表

連結貸借対照表

（単位:百万円）

科　目	前連結会計年度末（2009年3月31日）	当第1四半期末（2009年6月30日）	増減金額
資産の部			
流動資産	1,095,682	1,104,619	8,936
固定資産	2,784,121	2,835,414	51,293
有形固定資産	668,742	663,349	△ 5,393
無形固定資産	1,831,843	1,925,710	93,866
のれん	1,453,961	1,539,748	85,786
商標権	347,372	356,499	9,127
その他	30,509	29,462	△ 1,047
投資その他の資産	283,534	246,354	△ 37,180
資産合計	3,879,803	3,940,033	60,229

償却が進んだものの、為替の影響により在外子会社ののれん、商標権の期末評価額が増えました。

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

（単位:百万円）

科　目	前連結会計年度末（2009年3月31日）	当第1四半期末（2009年6月30日）	増減金額
負債の部			
流動負債	1,093,403	954,724	△ 138,679
固定負債	1,162,111	1,241,763	79,651
負債合計	2,255,514	2,196,487	△ 59,027
純資産の部			
株主資本	1,986,810	2,002,856	16,045
評価・換算差額等	△ 433,997	△ 330,112	103,885
新株予約権	364	404	39
少数株主持分	71,109	70,397	△ 712
純資産合計	1,624,288	1,743,545	119,257
負債及び純資産合計	3,879,803	3,940,033	60,229

社債の償還によるものです。

新規に国内債を発行したことによるものです。

為替の影響により、評価・換算差額等に含まれる為替換算調整勘定のマイナス幅が縮小しました。

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

（単位:百万円）

科　目	前第1四半期（2008年4月1日から2008年6月30日まで）	当第1四半期（2009年4月1日から2009年6月30日まで）	増減金額
売上高	1,719,819	1,463,121	△ 256,697
売上原価	1,394,538	1,185,876	△ 208,661
売上総利益	325,280	277,244	△ 48,036
販売費及び一般管理費	214,833	192,970	△ 21,862
営業利益	110,447	84,273	△ 26,173
営業外収益	6,433	5,469	△ 964
営業外費用	44,329	10,928	△ 33,400
経常利益	72,551	78,814	6,262
特別利益	1,355	10,243	8,887
特別損失	24,740	5,443	△ 19,297
税金等調整前四半期純利益	49,166	83,614	34,448
法人税等	30,509	39,292	8,782
少数株主利益	1,745	1,452	△ 293
四半期純利益	16,910	42,869	25,959

国内たばこ事業における総需要の減少に伴う販売数量の減少、海外たばこ事業における為替のマイナス影響等により減収となりました。

国内たばこ事業における一部商標権の償却終了による減価償却費の減少があったものの、売上高の減少を受け減益となりました。

支払利息の減少に加え、為替差損益の大幅な改善により、経常利益が増益となりました。

固定資産売却益の増加に加え、前年同期において廃止社宅等の取壊し費用を含む関連損失及び成人識別自販機導入費用を計上していたこと等により、増益となりました。

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位:百万円）

科　目	前第1四半期（2008年4月1日から2008年6月30日まで）	当第1四半期（2009年4月1日から2009年6月30日まで）	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 31,808	32,943	64,751
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 25,612	△ 13,074	12,538
財務活動によるキャッシュ・フロー	102,436	△ 74,726	△ 177,163
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 43,742	6,268	50,011
現金及び現金同等物の増減額	1,273	△ 48,589	△ 49,862
現金及び現金同等物の期首残高	215,008	167,257	△ 47,750
現金及び現金同等物の四半期末残高	216,281	118,668	△ 97,613

運転資本の増加幅の減少によるものです。

前年同期に加ト吉、富士食品工業の株式取得があったことによります。

社債の償還が進んだことによるものです。

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

『加波山たばこ神社　きせる祭』［茨城県］

日本一の“巨大キセル”が主役のお祭り!?

茨城県の名峰・筑波山の北に連なる加波山（＝標高709m）は、古くは“神母山”などと呼ばれたことからも分かるように、霊験あらたかな山岳信仰の山として地元の人たちから崇められてきました。また加波山は、いつのころからか、葉たばこを傷つける雹（ひょう）を降らせる雨雲を追い払う霊験があるともいわれるようになりました。

その加波山の山頂近くに鎮座する「加波山神社」をさらに登ると、「加波山たばこ神社」はあります。この２つの神社で毎年、黄金色に輝く葉たばこの収穫が終わり、秋の足音がかすかに聞こえ出す9月5日、豊作を願う『きせる祭』が行われています。

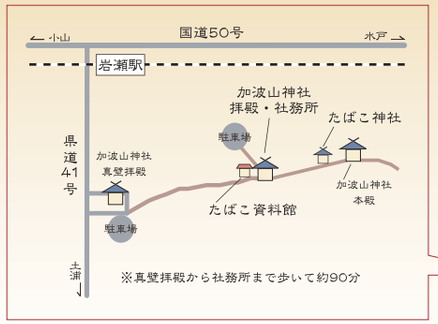
お祭りの主役は、長さ2.6m、重さ60kgもある日本一の“巨大キセル”。雁首に刻みを詰め、“火付け”の儀式が終ると、この“巨大キセル”は、芳醇な香りに包まれた紫煙を立ち昇らせながら、葉たばこ耕作者の皆さんによって「加波山神社」から「加波山たばこ神社」まで急峻（きゅうしゅん）な山道を担ぎあげられます。「加波山たばこ神社」に“巨大キセル”が無事奉納されると、関係者は“巨大キセル”を一服するのがならわし。その一服には、今年の豊作に対する感謝と、来年の豊作祈願が込められています。

「加波山神社」の前に飾られた、長さ2.6メートル、重さ60kgもある真鍮製の“巨大キセル”

紫煙の上がった“巨大キセル”を「加波山たばこ神社」まで担ぎあげる

「加波山たばこ神社」に“巨大キセル”を奉納して、祭りは終焉を迎える

「加波山たばこ神社」のふもとにある「加波山神社」には、「たばこ資料館」が併設されています。キセルをはじめとする喫煙具など、たばこに関するものが展示されており、入館料は無料。日本一の"巨大キセル"も、普段はここに展示されています。



■加波山たばこ神社
●所在地
〒315-0105　茨城県石岡市大塚字加波山1番地
（水戸線「岩瀬駅」から車で1時間）
●お問い合せ先
0296（55）3288
http://www.kabasan.or.jp/

鳥居薬品株式会社

130年を超えるチカラ

鳥居薬品(株)は1872年の創業以来、優れた医療用医薬品の提供を通じ、医療の発展と人々の健康に貢献してきました。その長い歴史の中で培われた信頼と「良い薬を販売し続ける」という伝統を守りながら、新たな挑戦を続けています。

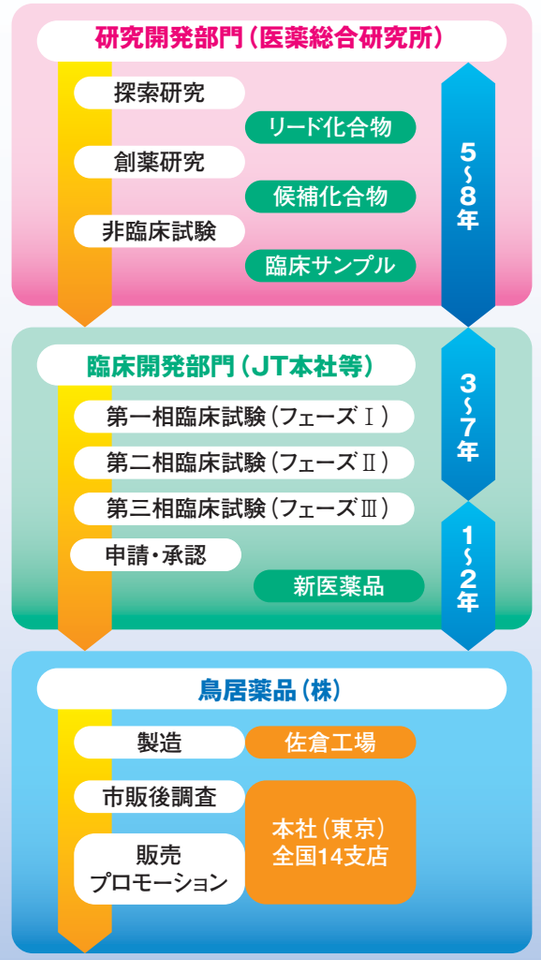
JTとのコラボレーション

JTの研究開発力と鳥居薬品(株)の製造・販売力

他産業に比べ、研究開発に多くの資源を投入している製薬業界では、新薬の開発のために必要な技術がますます高度化しています。また、承認を得るためのハードルは極めて高くなり、新薬が世に出るまでには非常に長い年月が必要となります。

このような状況に鑑みて、鳥居薬品(株)は創業以来築き上げてきた信頼と伝統を尊重しながら、1998年よりJTグループの一員としてJTとのコラボレーション(協業体制)というビジネスモデルを構築することになりました。医薬事業推進体制において最大限の相乗効果を発揮するため、研究開発主導型医薬事業を目指すJTは新薬の研究開発に、鳥居薬品(株)は製造・販売に集中するという効率的な役割分担を行うことで、必要とされる医薬品を患者様にお届けしていきます。

信頼される国内市場のメジャープレーヤーを目指しています



営業活動

信頼と伝統を生かしつつ改革を推進

鳥居薬品(株)は130余年の歴史の中、医療用医薬品の分野で確固とした販売ネットワークと、医療関係者、医療機関からの厚い信頼を築き上げてきました。この信頼と伝統を十二分に生かしつつ、先の時代をしっかり見据え、環境の変化を先取りした改革を推進していきます。

医薬情報の提供・収集・伝達を通じて医療の一端を担う

どんなに優れた医薬品でも、適正に使用されなければその効果は発揮されません。MR(医薬情報担当者)は、医薬品を適正に使用していただけるよう医師や薬剤師といった医療関係者に医薬情報を提供し、同時に医療現場から得られた安全性や有効性に関する情報を収集しています。これらの情報は社内で評価・分析され、再び医療現場にフィードバックされます。そしてフィードバックされた情報が、さらなる適正使用の推進につながっていくのです。

鳥居薬品(株)のMRは、一人ひとりが高い倫理観を持ち、医療の一端を担っているという責任の重さを強く自覚しています。病気で苦しむ人だけでなく、すべての人がよりよい健康状態を実感できる社会を目指し、MRの挑戦は尽きることがありません。そして今日も、医療現場で医薬情報の提供・収集・伝達を行っているのです。

お客様のニーズに迅速に対応

全国展開した営業網を有する鳥居薬品(株)では、チーム制によりフラット化した組織でお客様のニーズに迅速に対応しています。支店を統括する本社医薬営業グループでは、市場環境の変化を見据えた営業戦略を打ち出しつつ、MR活動の支援も行っています。

JTとの協業体制により販売を担う鳥居薬品(株)では、今後、MR活動をさらに強化し、お客様のニーズに応えていきます。

お客様から信頼されるMRの育成を目指し、さまざまな教育研修や学習システムを整えています

■JTグループ組織図

TORII PHARMACEUTICAL CO., LTD

製造活動

製造した医薬品の先に患者様がいることを意識して

人々の生命や健康に直接関わる医薬品には、より高度な品質の保証が求められています。鳥居薬品(株)は医薬品の生産から物流まで、全工程を通して品質を維持するために、かつ「安心」という目には見えない気持ちをお届けするために、徹底した管理体制を敷いています。そして、製造した医薬品の先に、それを求め、必要とする患者様がいることを常に意識しています。

生産から物流まで、徹底した管理体制のもとで医薬品を製造しています

高品質な医薬品の製造

5つの工場棟により構成されたGMP(医薬品の製造管理及び品質管理に関する基準）適合工場である佐倉工場(千葉県)では、主力製品である蛋白分解酵素阻害剤「注射用フサン」、外用副腎皮質ホルモン剤「アンテベート軟膏・クリーム」、尿酸排泄薬「ユリノーム」等を製造しています。ここでは原料の受け入れから、製造工程、中間品、包装、出荷まで厳しいチェックを重ね、徹底した品質管理を行い、高品質の医薬品を製造しています。そして、市場のニーズに迅速に対応できる生産体制を構築し、安定した供給を行っています。

また、1999年にはISO14001(環境マネジメントシステム）の認証を取得。佐倉工場は自然環境との調和を大切にし、今後も世界水準の品質保証体制確立に向けて、さらなる取り組みを行っていきます。

研究・開発活動

付加価値向上への取り組み

鳥居薬品(株)は1999年に新薬の研究開発機能をJTに統合し、現在は佐倉工場敷地内において、既存製品の剤形改良など付加価値向上の研究を行っています。

JTでは国際的に通用するオリジナル新薬の開発を目指し、研究開発力の充実・強化を図りながら、積極的、かつ創造的に事業に取り組んでいます。その中核となるのが、1993年、大阪府高槻市に設立された「医薬総合研究所」であり、主に糖・脂質代謝、ウィルス、免疫・炎症、骨の領域で新薬の研究開発を行っています。

JTでの研究開発の成果として誕生する医薬品の国内販売に備え、鳥居薬品(株)はさらなる医療現場からの信頼の獲得に努めていきます。

既存製品の付加価値向上の研究を行っています

時代のニーズに応え続ける主要製商品

2009年3月発売

「レミッチ®カプセル」
経口そう痒症改善剤

血液透析患者におけるそう痒症は、炎症等を伴わない全身性の強い痒みで、はっきりとした原因は不明です。「レミッチ®カプセル」は、血液透析患者の既存治療抵抗性の痒みを抑える世界初の選択的オピオイドκ(カッパ)受容体作動薬です。

「ユリノーム®錠」
尿酸排泄薬(痛風治療剤)

体内に増えた尿酸を尿中に排泄して高尿酸血症を改善する薬剤です。

「注射用フサン®」
蛋白分解酵素阻害剤

消化器疾患である急性膵炎や、血液関連疾患である汎発性血管内血液凝固症の治療だけでなく、血液透析等の血液浄化療法を施行する際に、回路内で血液が固まらないようにする薬剤として使用されています。

「アンテベート®」
外用副腎皮質ホルモン剤

アトピー性皮膚炎や接触皮膚炎等の皮膚疾患に対して、炎症を抑えることで症状を改善する薬剤です。

「ツルバダ®錠」
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬)

HIV逆転写酵素を特異的に阻害することにより、HIVの増殖を阻害する薬剤です。

会社概要

- 会 社 名：鳥居薬品株式会社
- 本　　社：〒103-8439　東京都中央区日本橋本町3-4-1　トリイ日本橋ビル
- 設　　立：1921年11月1日
- 資 本 金：5,190百万円
- 売 上 高：37,349百万円（2009年3月期）
- 代表者名：代表取締役社長　松尾　紀彦
- 従業員数：878名（2009年3月末現在）

事業内容

- 医薬品の製造・販売

ひろえば街が好きになる運動

日本中でゴミを集めるのは、日本中にマナーを広めたいからです。

JTは、2004年5月から市民参加型の清掃活動「ひろえば街が好きになる運動」（通称「ひろ街」）を全国で展開しています。ごみを「ひろう」という体験を通じて「捨てない」気持ちを育てたいという願いを込めて実施しているこの活動は、2009年6月までに全国47都道府県で約800回開催し、のべ86万6000人以上の方々にご参加いただきました。2008年度は、284回実施し、約25万人の方々が参加。活動の輪を着実に広げています。

また、清掃活動にご参加いただくだけでなく、全国各地の自治体・企業・学校・ボランティアをはじめ、各催事の実行委員会や参加団体などの運営協力をいただき、皆様とともに活動しています。

“もっともっと捨てない人を増やしたい”そんなテーマのもと、今後も日本中にマナーを広める活動に取り組んでいきます。

アルピニスト・野口健氏も『ひろ街』に参加しています！

欧米の登山家から「日本人は、経済は一流だけどマナーは三流だ」と言われ、それを見返したい思いで清掃登山を始めました。2006年10月から「ひろ街」に参加していますが、「ひろ街」は現在、各自治体や団体へのバトンタッチを広げる時期に入りました。僕自身もこの活動を盛り上げていく役割を担っていると自覚しています。市民清掃活動を広げるためのきっかけづくりとして、今後も「ひろ街」活動を継続していただきたいと思っています。

北海道 第60回 さっぽろ雪まつり

京都 第9回 鴨川さくらまつり

2009ひろしま フラワーフェスティバル 広島

山梨 第39回信玄公祭り

岡山 第22回わっしょい カーニバル西大寺2009

第32回鳥取市花のまつり 鳥取

第24回 ふくい春まつり 福井

現在までの活動実績

実施回数 **804 回**

参加してくれた人数 **866,339 人**

参加団体数 **1,534 団体**

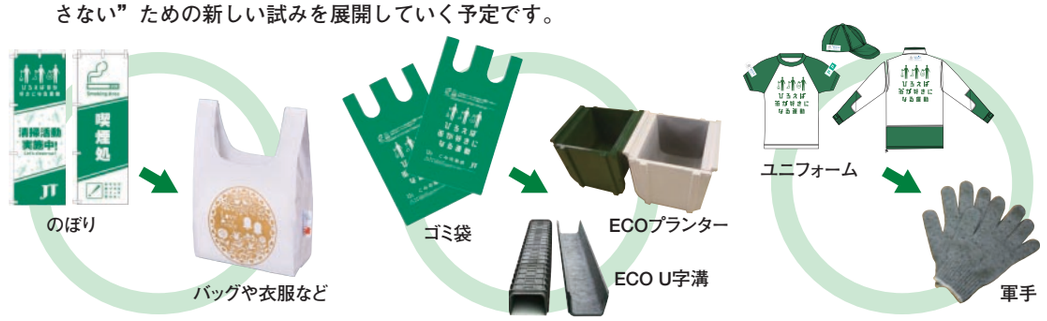
2004.5.3～2009.6.30

全国に活動の輪が広がっています

ごみを“ひろう”運動から、ごみを“出さない”運動へ
「ひろ街」は、イベント資材のリサイクルに取り組んでいます！

「ひろ街」のイベントグッズが新しいアイテムに生まれ変わります！

「ひろ街」では、全国で使用しているイベント資材にできるかぎりリサイクル可能な素材を選定し、地球環境に配慮したイベント運営を行っています。これからは、ごみを“ひろう”だけではなく“出さない”ための新しい試みを展開していく予定です。



「ひろえば街が好きになる運動」最新情報は → hiromachi.jp

たばこと塩の博物館　特別展
「やすらぎのオーストリア　～カフェとたばこにみるウィーンの文化史～」展

2009年9月12日（土）～11月3日（火・祝）

■主催：たばこと塩の博物館　■後援：外務省※、オーストリア大使館　■協力：オーストリアタバコ、王宮家具博物館、カフェミュージアム
※後援申請中（8月10日時点）

日本とオーストリアの交流開始から140周年にあたる今年、両国で行われる「日本オーストリア交流年2009」のイベントの一環として、オーストリアで築かれた豊かなやすらぎの文化をご紹介する企画展を開催します。

中世から第一次世界大戦までの長きにわたり、ハプスブルク家の帝国としてヨーロッパに君臨していたオーストリア。芸術や音楽を愛し、伝統を大切にするこの国には、首都ウィーンやザルツブルクなどに魅力的な観光資源も多く、世界中の人々を引き付けてやみません。

日本とオーストリアの交流は、1869（明治2）年に結ばれた修好通商航海条約を契機として始まりました。2009年は条約締結140周年にあたり、「日本オーストリア交流年2009」として、両国で多彩なイベントが開催されています。

この交流年のイベントの一つとして企画された今回の展覧会では、オーストリアタバコが所蔵する貴重なたばこ関係の資料や、王宮家具博物館所蔵の王宮で使用された家具や食器など約300点の資料を展示し、ハプスブルク家の人々、ウィーン万国博覧会、ウィーンのカフェ、ウィーン風のデザインなどをご紹介します。また、たばこというテーマから垣間見ることができる日本とオーストリアの文化交流の歴史などにも触れていきます。

フランツ・ヨーゼフ帝肖像入りスナッフボックス

1873年のウィーン万国博覧会に出品されたメアシャムパイプ

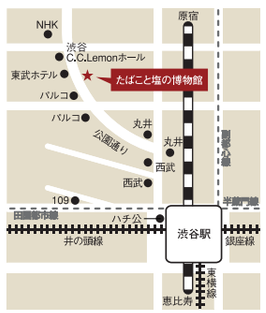
1602年の木製パイプ

（いずれも「ウィーン オーストリアタバココレクション」）

たばこと塩の博物館

●開館時間
10:00～18:00（入館は17:30まで）
●休 館 日
月曜日（月曜日が祝日、振替休日の場合は翌日）、年末年始（12/29～1/3）
●入 館 料
会期中は特別料金［大人・大学生 300円（150円）／小・中・高校生 100円（50円）］とさせていただきます。
（　）内は20名以上の団体料金／70歳以上は無料（証明書が必要）

〒150-0041　東京都渋谷区神南1-16-8（渋谷駅より徒歩10分）
■お問い合せ先　03-3476-2041
http://www.jti.co.jp/Culture/museum/WelcomeJ.html

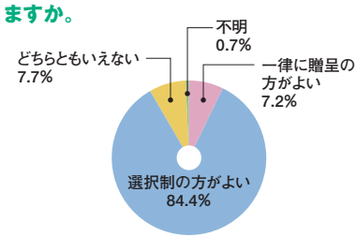


株主様アンケート結果のご報告

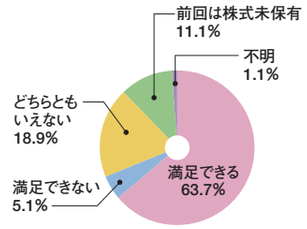
2009年6月の業績報告書vol.25送付時に実施しました株主様アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今回は、約15,000人もの多数の株主様からご回答をいただきました。
お答えいただいた質問の中から株主優待商品、業績報告書に関する結果についてご報告します。

株主優待について

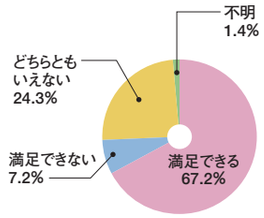
株主優待制度の変更についてどう思われますか。



前回の優待商品の内容はいかがでしたか。



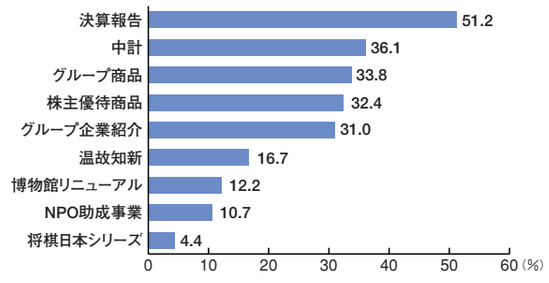
今回の優待商品の内容はいかがですか。



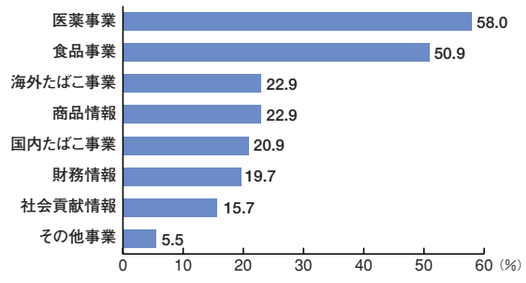
株主優待については、選択制についてご好評をいただいております。また、前回よりも今回のラインナップにご好評をいただきました。

業績報告書vol.25について

業績報告書で関心を持たれた記事はどれでしたか。（複数回答可）



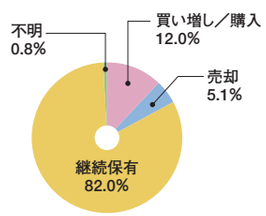
今後、充実が望ましい情報は何でしょうか。（複数回答可）



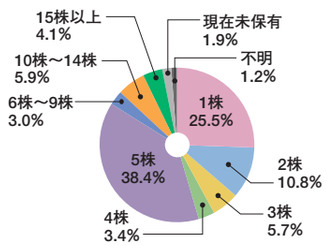
業績報告書の中では、決算報告への関心が高く、医薬・食品事業の情報の充実を求める株主様が多いという結果になりました。今回の業績報告書では、医薬事業の子会社鳥居薬品（株）の紹介記事（P11～14）を掲載しました。ぜひご覧ください。

当社株式について

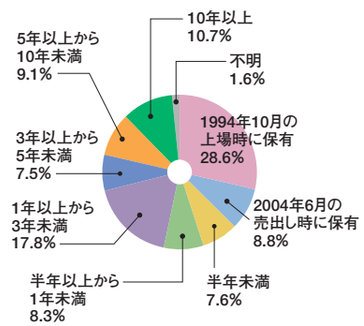
最近1年間の保有傾向を教えてください。



当社株式保有数を教えてください。



当社株式保有期間を教えてください。



5株保有されている株主様が40%、上場時から保有されている株主様が30%となっています。平均保有株式数は4.6株、平均保有期間は7.3年になります。

ニュース掲示板

NEWS

●2009年度JTアジア奨学生の給付証交付式と歓迎会を開催

4月22日、JTビルにおいて、2009年度JTアジア奨学生11名の奨学金給付証交付式と歓迎会を開催しました。

2009年4月から新たにJTアジア奨学生になったのは、中国出身4名、韓国出身3名、台湾・モンゴル・インドネシア・ベトナム出身各1名の計11名です。

奨学金給付証交付式では、JTアジア奨学金制度に関してのガイダンスの後、JT住川雅明副社長から奨学生の皆さん一人ひとりに、奨学金給付証を手渡しました。

休憩をはさんで行われた歓迎会には、昨年度より継続して受給している奨学生10名と、JTの役員幹部17名も参加。自己紹介では、新たに奨学生となった皆さんが、自分たちの研究内容のほか、「交流を深めながら楽しい留学生活を送りたいです」「日本の下町が好きで、時間があれば散歩に出かけています」など、今後の抱負や趣味について話しました。

最後は、奨学生の皆さんとともに“関東一本締め”で会を締めくくり、終始和やかに進行した歓迎会は幕を閉じました。

奨学生の皆さんとJT役員幹部との記念撮影

奨学生の皆さん一人ひとりに給付証が手渡されました

●「CSR報告書2009」発行

JTでは、JTグループのCSR（社会的責任）の考え方や取り組みをより深くご理解いただくために、「CSR報告書2009」（冊子版・Web版）を発行しました。

本報告書は、3か年のCSR推進計画（2006～2008）の最終年度を対象としています。「JTグループのCSR推進方針」で定めた4つの領域・分野（経営の基盤領域・事業環境分野・地球環境分野・社会貢献分野）に沿って構成し、CSR推進計画における重要活動項目を中心に報告しています。

海外の取り組みについては、海外たばこ部門における環境・安全衛生の取り組みや社会貢献活動を取り上げました。

また特集では、2008年度に食の安全管理体制を大幅に強化したことを踏まえ、食の安全に対するJTグループの想いや具体的な取り組み内容を紹介しています。

「CSR報告書2009」

※Web版はJTウェブサイトの中の「CSRの取り組み」からご覧いただけます。
http://www.jti.co.jp/csr/

JTグループ商品のご案内

リニューアル

ルーツ「アロマブラック」

300gボトル缶／130円（希望小売価格　消費税別）

●ご好評いただいているルーツ「アロマブラック」が味・パッケージともにリニューアル。従来の「新じっくり焙煎」に加え、アロマを引き出すことに特化した「アロマ焙煎」を新たに取り入れ、それぞれの焙煎豆をブレンドすることで、さらに豊かな香りとコクを引き出しました。

●キャップは、従来の「スリップレスキャップ」の側面に凹凸をつけることで、さらに滑りにくくなりました。

「豊かなアロマ」でさらなる味わい

好評発売中

ルーツ「アロマレボリュート」

275gボトル缶／140円（希望小売価格　消費税別）

●中南米産を中心にアラビカ豆を100%使用し、「新じっくり焙煎」で深めに焼き上げることで、砂糖とミルクに負けない豊かな香ばしいアロマを引き出しました。また、牛乳に加え、植物性の「JTクリーミー※注」を併用し、コーヒーの香りをより際立たせました。

●パッケージは、「金」と「こげ茶」を基調とすることにより、砂糖とミルクが入った味わいを伝えるデザインとしました。

※注　熱劣化に強いJT独自の植物性油脂原料

今までにない“革命的な香り”

好評発売中

「細うどん」3食入（600ｇ）

●本格冷やしうどんやざるうどんがご自宅で楽しめる「細うどん」タイプです。食べやすい細麺でありながら、独自の製法によりモチッとした食感と、コシの強さ、ツルッとしたのど越しを実現しました。

●1玉ずつ包装してあるので使いやすく、ボイル調理はもちろん、鍋を使わず電子レンジで簡単に調理することもできます。

暑い季節にツルッと！　簡単本格うどん

リニューアル

お弁当シリーズ「新鮮卵のふっくらオムレツ」4個入（140g）

●鹿児島県の契約農家直送の新鮮卵に、国産鶏ひき肉、4種の国産野菜（ほうれん草、にんじん、いんげん、しいたけ）がたっぷり入ったオムレツです。具材の食感もさらによくなりました。

●鰹と昆布のだしと有機しょうゆを使用した和風味なので、ごはんにぴったり。お弁当はもちろん、食卓にもお使いいただけます。

鹿児島県産の新鮮卵とこだわりの国産素材使用

いつでもお好きなときにJTグループの商品をお買い求めいただけます。
JTオンラインショップ（飲料）　http://www.shopjt.com/
加ト吉「美味しさ直送便」（加工食品）　http://www.rakuten.co.jp/katokichi/

株式の諸手続きについて

（1）株式の諸手続きについてのお問い合せ先は？

当社株式の手続きにつきましては、原則として口座を開設されている証券会社までお問い合せください。特別口座をご利用の株主様につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社までお問い合せください。

◎住所変更の手続き

株主総会招集ご通知、配当金領収証又は配当金計算書、株主優待商品等はご登録のご住所あてにお送りさせていただいております。引越し等により、ご住所に変更があった場合には、口座を開設されている証券会社へ速やかにお届出をお願いいたします。特別口座をご利用の株主様につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社へ速やかにお届出をお願いいたします。

（2）配当金の受取方法は？

◎配当金のお受取方法の種類

配当金のお受取方法については、現金受取と口座振込がございます。口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます。現金受取をご選択の株主様には、配当金領収証をお送りいたしますので、お近くのゆうちょ銀行又は郵便局でお早めにお受け取りください。口座振込をご選択の株主様には、あらかじめご指定いただいた銀行・ゆうちょ銀行等の口座に配当金が振り込まれます。また、期末（中間）配当金計算書もお送りいたします。

口座振込には以下の3通りの方法がございます。

①個別銘柄（保有する各株式）ごとに銀行等の預金口座を指定してお受け取りいただく方法

保有する株式ごとにお受け取りいただく銀行等の預金口座を分けることができます。

②保有する株式の配当金を一括して銀行等の預金口座でお受け取りいただく方法

保有する株式の配当金を一括して、登録した振込先（銀行等の口座）でお受け取りいただけます。振込先の指定は、1つの金融機関に限ります。

③証券会社の取引口座でお受け取りいただく方法

証券会社の取引口座（複数の証券会社に残高がある場合は、残高に応じて配分します）で配当金をお受け取りいただけます。特別口座をご利用の株主様はご利用できません。

◎配当金のお受取方法の変更

口座を開設されている証券会社へご連絡ください。複数の証券会社に口座がある場合も、1つの証券会社で手続きができます。特別口座をご利用の株主様につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社へご連絡ください。

（3）配当金関係の書類が届かない場合、又は配当金領収証を紛失した、あるいは払渡し期間を過ぎてしまった場合は？

上記の理由等により、配当金をお受け取りいただけなくなっている株主様は、当社の株主名簿管理人であります三菱UFJ信託銀行株式会社へご連絡ください。

●特別口座に関するお問い合せ先

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
フリーダイヤル　0120-232-711
（受付時間　土・日・祝日を除く　9:00～17:00）

郵便物送付先

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号

特別口座に関する手続用紙のご請求

フリーダイヤル　0120-244-479
（三菱UFJ信託銀行株式会社24時間テレホン自動音声応答サービス）

■ 役員

取締役

取締役会長	涌井　洋治
代表取締役社長	木村　　宏
代表取締役副社長	武田　宗高
代表取締役副社長	住川　雅明
代表取締役副社長	小泉　光臣
代表取締役副社長	志水　雅一
取締役	大久保憲朗
取締役	古谷　貞雄
取締役	新貝　康司

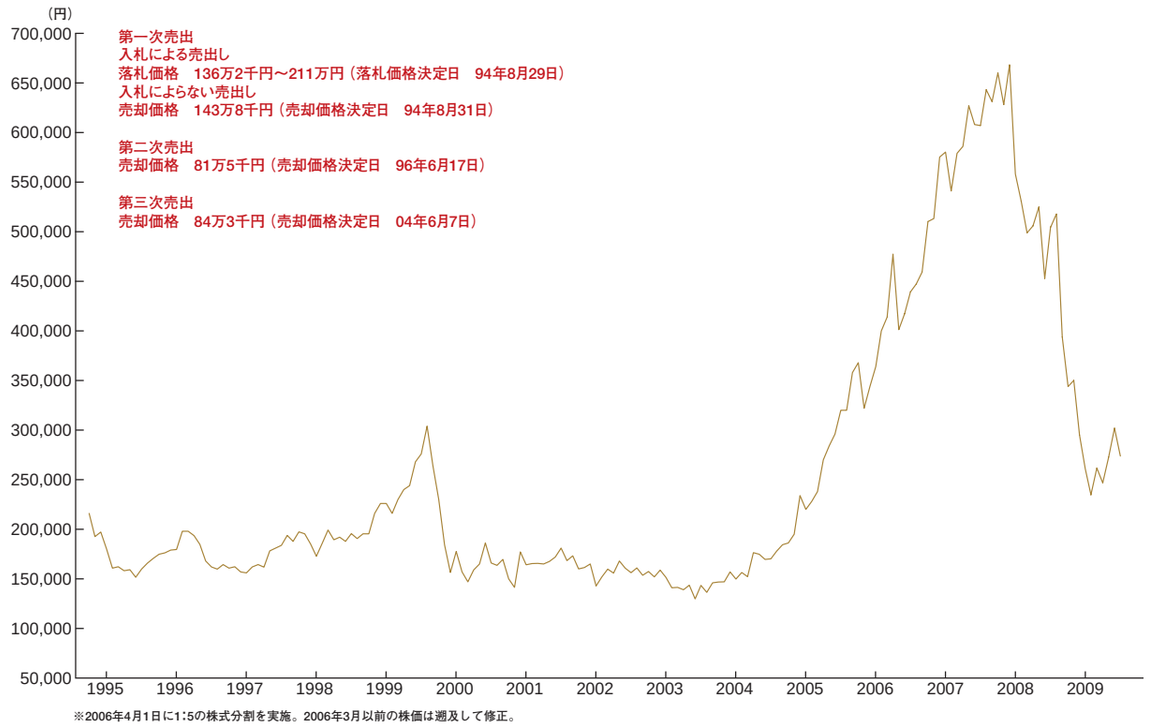
監査役

常勤監査役	立石　久雄
常勤監査役	塩澤　義介
監査役	藤田　太寅
監査役	上田　廣一

執行役員

社長		木村　　宏
副社長	（コンプライアンス・財務・食品事業担当）	武田　宗高
副社長	（企画・人事・法務・監査担当）	住川　雅明
副社長	（たばこ事業本部長）	小泉　光臣
副社長	（コミュニケーション責任者 兼 CSR・総務担当）	志水　雅一
専務執行役員	（医薬事業部長）	大久保憲朗
専務執行役員	（法務責任者）	下村　隆一
常務執行役員	（たばこ事業本部　マーケティング＆セールス責任者）	藤崎　義久
常務執行役員	（たばこ事業本部　R＆D責任者）	岩波　　正
常務執行役員	（たばこ事業本部　製造統括部長）	飯島　謙二
常務執行役員	（食品事業本部長）	古谷　貞雄
常務執行役員	（企画責任者）	岩井　睦雄
執行役員	（たばこ事業本部　R＆D副責任者）	前島　宏敏
執行役員	（たばこ事業本部　原料統括部長）	村上　伸一
執行役員	（たばこ事業本部　中国事業部長）	川股　篤博
執行役員	（たばこ事業本部　事業企画室長 兼 渉外責任者）	佐伯　　明
執行役員	（医薬事業部　医薬総合研究所長）	春田　純一
執行役員	（食品事業本部　飲料事業部長）	永田　亮子
執行役員	（人事責任者）	松本　　智
執行役員	（財務責任者）	宮崎　秀樹
執行役員	（総務責任者）	千々岩良二

■ 株価の推移　1994年10月27日上場～2009年7月　当社株価（東証終値,月間）



※2006年4月1日に1:5の株式分割を実施。2006年3月以前の株価は遡及して修正。